

日常からはじまる物語

特別な出来事ではなく、何気ない日々の中にこそ、その人らしい物語が宿っています。家族の記憶、まちを歩く視点、暮らしと仕事。東村山という土壌で、静かに、けれど豊かに育まれてきた3つの物語を訪ねました。

Photography by Fumie Tajima

記憶をつくる、親子の時間

「ちょうど『8時だヨ！全員集合』が始まる時間で、志村けんさんを見たかったのに、テレビがガガガってなってる見えないって（笑）」

冬には多摩湖の堤防をダンボールで滑り、かつてのデイキャンプ場では廃材をリサイクルで運んで、縄文式土器の野焼きに丸2日を費やす。そんな少し風変わりな遊びも、矢部家にとっては当たり前の光景でした。

「皆さんにとっては日常じゃないかもしれないけれど（笑）、僕はこれが当たり前の光景です」と、太郎さんは楽しそうに笑います。

『光子ノート』が映し出す
普遍的な気持ち

そんな矢部家の日常を、みつのりさんが3冊に渡り克明に描き留めていたのが、『光子ノート』です。誰かに読んでもらうためでもなく、長女・光子

矢部太郎 芸人・漫画家
やべみつのり 絵本作家

さんの何気ない言葉やしぐさをただ記録していたこのノートは、約50年の時を経て、太郎さんが自ら出版社を立ち上げ、本にすることで再び光を浴びることになりました。

太郎さんは、「太郎ノートは3冊しかない（笑）」とはにかみながら、こう語ります。

「このノートを読んで、何より家族の『普遍的な気持ち』が描かれているなと感じたんです。道にどんぐりが落ちていた、枯葉が降ってきた。そんなささやかな日常の断片が、おもしろくて、ずっと出版したいと思っていました。同じ景色、同じ匂い

やべみつのり(父)

1942年生まれ。岡山県倉敷市育ち。1977年より子どものための造形教室「ハッパ」を16年間主宰し、各地で造形あそびや紙芝居づくりのワークショップを行う。代表作に『かばさん』『ひとはなくもの』（こくま社）など。

矢部 太郎(息子)

1977年生まれ。東京都東村山市出身。2017年に発表した漫画『大家さんと僕』（新潮社）で第22回手塚治虫文化賞短編賞を受賞。舞台やドラマ、映画で俳優としても活躍中。自ら出版社「たろう社」を立ち上げるなど活動の幅を広げている。

親子ふたりの本『光子ノート』



矢部太郎さんが立ち上げた出版社の記念すべき第一弾。父・やべみつのりさんが描き続けた子育て絵日記から厳選収録。1970年代の東京を背景に、家族の日常が鮮やかに立ち上がる。

著者 | やべみつのり 編集・解説マンガ | 矢部太郎
装丁 | 名久井直子 印刷 | 八紘美術 発行 | たろう社

市内で買えるお店

トール
042-392-5304
東村山市野口町1-11-4
11:00~18:30 (土・日曜、祝日~17:00) / 不定休



おふたりの表現活動の根っこには、常にこの東村山での生活がありました。太郎さんの漫画『ぼくのお父さん』（新潮社）がカラー作品である理由も、多摩湖町で過ごした記憶が「カラフル」な色彩に満ちているからです。狭山公園の緑、多摩湖の堤防の青、夜空を揺らした花火の色。そして、見開きページで表現された雨上がりの虹……。それらはすべて、このまちで

記憶の色彩と
日常の積み重ね

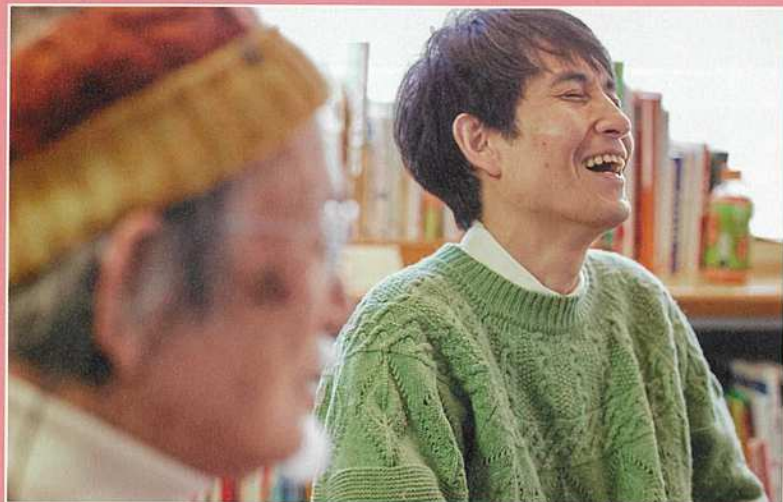
の中で育っている東村山の人々が、きっと日本で一番楽しめる本なんじゃないかな」

絵本作家のみつのりさんが東村山の多摩湖町に移り住んだのは、今からちょうど50年前。その年に生まれたのが太郎さんです。「川沿いにある、木造の6軒長屋でね」と、みつのりさんは懐かしそうに当時を振り返ります。

太郎さんの子ども時代の記憶は、今振り返っても驚くほど鮮やか。畳の座敷に平置きで本が並び、まるでお味噌屋さんのような佇まいの本屋さん。「にちりよう」と呼んでいた駄菓子屋で買ったスーパースターボールを、土手でバウンドさせてはね返ってきたのをキャッチする遊び。そして夏になれば、西武園の花火が間近に迫り、家が揺れるほどでした。

多摩湖町での
日常のはじまり

絵 本作家のやべみつのりさんと、お笑い芸人・漫画家の矢部太郎さん。東村山・多摩湖町でともに過ごした何気ない日常は、今、親子それぞれの表現の根っこになっています。みつのりさんが娘・光子さんの幼少期を書き留めた育児記録が、太郎さんの手によって『光子ノート』として世に出た今、日常の記憶が持つ不思議な力について、ゆっくりとお話を伺いました。



『おはメさん』(新潮社)
矢部太郎さんが、幼少期の父との日常を描いた家族漫画。淡い色彩がほのぼのと温かい全編オールカラー。



『かばさん』(こぐま社)
動物園で見たカバとお父さんがそっくり?みつこがカバ親子になりきって遊ぶ、お父さん大好きな気持ちがあふれる絵本。

日常の記憶は、沈んでいるだけ。

耕せばまた出てくる。

見ていた日常の色彩がベースになっています。
みつのりさんの代表作『かばさん』(こぐま社)も、光子さんが上野動物園でカバの前から動かなくなったというノートの記録が始まりでした。手づくり絵本を経て出版へと繋がったその道のりを、「一冊の絵本をつくるために、これぐらいの日常の積み重ねがお父さんには必要だったのかもしれない」と、太郎さんは分析します。

後ろからそっと 見守る眼差し

令和7年秋、みつのりさんの故郷である倉敷の市立美術館で、初めての親子展が開催されました。会場にはおふたりの原画のほかに、太郎さんが子ども時代につくったドミノや、当時のスケッチなども展示されました。
「あんな立派な美術館に、自分の小さ

い頃の鳥の絵が展示されることになる
とは(笑)」

太郎さんは笑います。

「この家にも子どもたちがつくったものはある。ただ、みんな捨てちゃうから。子どもが初めて書いた字とか、なんで捨てちゃうんだろうって思うんですよね。そのときの気持ちが全部そこに入っているのに」

みつのりさんの子育て論もまた、そのお父さんへの象徴しています。

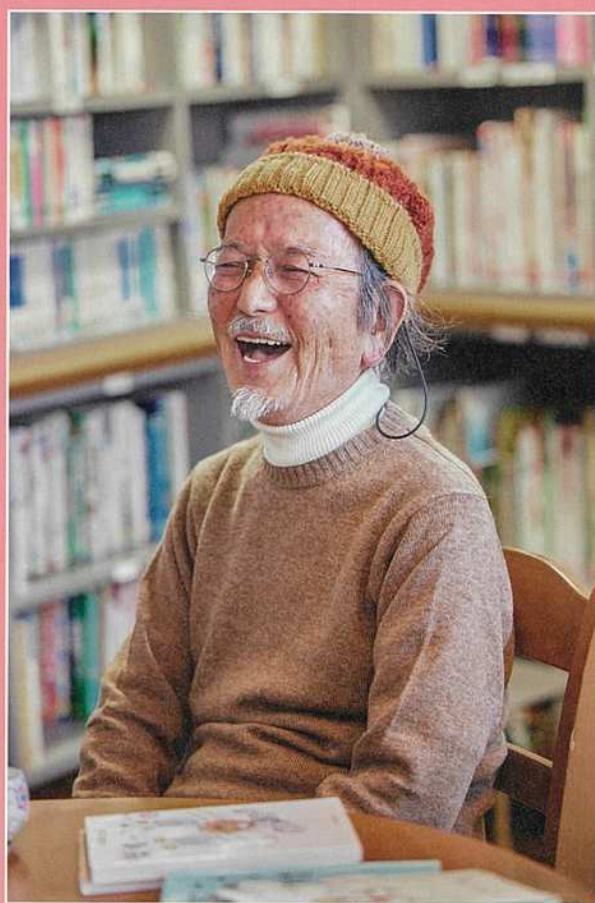
「親っていうのは自分が子どもだった頃をすっかり忘れて、子どもを思い通りにしようとするがち。でも、それだとおもしろいものは出てこないと思うんですよ。命に関わることで以外は、とにかく後ろで見守るのがいい」

多摩湖町の豊かな自然と、かつての長屋に流れていた「隣のおばあちゃん」が自然に家に入ってくる「ような緩やかな空気が、その「見守る」姿勢を育んでくれました。

志村けんさんと 泰造さんと

お笑いの世界に飛び込んだとき、太郎さんにはずっと誇りにしていたことがありました。それは、大先輩である志村けんさんと同じまの出身だということです。フジテレビの食堂でたまたま「挨拶が叶った際、「東村山なんです」と伝えると、志村さんは「頑張つてね」とやさしく声をかけてくれたといいます。

「それが今でも、すごくいい思い出として心に残っています」
同じ東村山第四中学校の先輩であ



日常の記憶は、 沈んでいるだけ

る原田泰造さんとは、番組で地元話に花が咲き、校歌を歌おうと盛り上がりました。
「ふじのやま」って意気揚々と歌い出したんですけど、途中で「あれ、これ中学校じゃなくて回田小学校の校歌じゃないか!」ってなつて」と、太郎さんは笑います。

日常の記憶は、 沈んでいるだけ

対談の締めくくり、話題は「記憶」という名の地層へと深まっています。
「日常の記憶は、普段は忘れてしま

うけど、ふとした瞬間にぱっと思い出せる。それは単に懐かしむためではなく、今の自分をもう一度考え直させてくれるものなんです」と、太郎さんは語ります。

みつのりさんは、敬愛する絵本作家・井上洋介さんの「忘れることはない、耕すんだ。沈んでいるだけだ」という言葉を引きました。

「一度見たこと、体験したことは、自分の中に沈んでいるだけで、耕せばまた出てくる。それはどの場所においても、どんな時代においても同じことだと思う」

かつて木造の都営住宅が更地になり、みつのりさんはそこで畑を耕していました。その体験が、まさにその言葉を象徴していたそうです。

「土をいじり、耕し、育てていく。その手触りこそが、「生きている」っていう実感そのものでしたね」

少しずつ変わりゆく 風景の中で

東村山駅の高架化や再開発が進み、東村山の風景はそのかたちを少しずつ変えています。太郎さんが学生時代にアルバイトをしていた釣り堀「小島園」も、今はもうありません。
矢部親子が暮らした6軒長屋の時代、そこには、生垣越しに隣り合う

お話を聞いた場所



多摩湖ふれあいセンターの図書コーナーは、小さな部屋ながら本にぐるりと囲まれた落ち着いた空間。棚には児童書や絵本など約4500冊が並びます。やべみつのりさんが絵本の読み聞かせを行ったこともある思い出の場所で、かつて暮らした長屋にもほど近く、親子の対話を聞きながら、このまちの日常の記憶を感じるひとときとなりました。

多摩湖ふれあいセンター
☎042-398-7851
★東村山市多摩湖町1-18-16
◎9:00~12:00、13:00~17:00、17:30~21:30 水曜休館



Have a good day!
パンで始まる、いい一日。

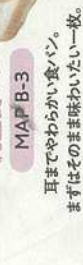
朝はコーヒードパン、という時間が好きです。店先に漂う焼き立ての香りや、思わず見とれるパンの佇まい。元々はパン屋だった私が、食べてみたいパン屋さんを紹介してしまおう。そんな、まちなかのパン屋さんを紹介しよう。

メルポーチ
半熟たまごのカレーパン



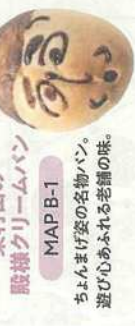
MAP B-3
半熟たまごがふんわり、コクあるカレーと、まろやかな甘みが絶妙。

HARE/PAN 久米川店
刺身食パン



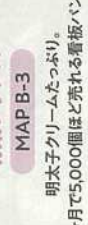
MAP B-3
耳までやわらかい食パン。まずはそのまま味わいたい一枚。

マドンナ
東村山の
酸味クリームパン



MAP B-1
ちよんまけ安の名物パン。遊び心あふれる老舗の味。

ベーカーリーラザレ久米川店
明太フランス



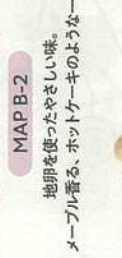
MAP B-3
明太子クリームたっぷりの、1ヶ月で5,000個ほど売れる看板パン。

福ら
ちび乳チーズ



MAP A-3
白神こだま酵母のやさしい味。もちもち食感が心地よい小ぶりなミニパン。

ボンジュール・ボン 東村山店
メープルメロンパン



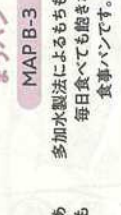
MAP B-2
地卵を使ったやさしい味。メープル香る、ホットケーキのような一品。

サントアン
トロパン



MAP C-1
トロパンなど遊び心あふれる一軒。見ても食べても楽しいパンがズラリ。

MAUPAN
まうパン



MAP B-3
多加水製法によるもちもち食感。毎日食べても飽きない食事パンです。

おやつな時間

おやつがあるだけで、時間は少し特別になりますよね。そこで、今気になる東村山のおやつを集めました。明日の午後3時、どれにする?

シャモア洋菓子店
久米川店



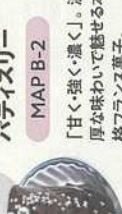
MAP B-3
ひがっしーをかたどったサブレが人気。安心素材でつくるやさしい甘さ。

欧風菓子アンジャンテ



MAP B-3
チーズケーキ専門店。ふわりとほっとける食感と香りが印象的。

ルフレザリア
パティスリー



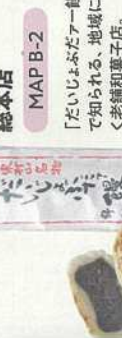
MAP B-2
「甘く・強く・濃く」。濃厚な味わいで魅せる本格フランス菓子。

ロートヌ
秋津本店



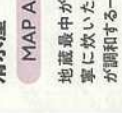
MAP C-1
色鮮やかなケーキが並ぶ名店。五感で楽しむ洗練のパティスリー。

和菓子処 餅萬
総本店



MAP B-2
「だいたいぶだー種頭」で知られる、地域に根づく老舗和菓子店。

御菓子司
清水屋



MAP A-2
地蔵最中が名物。丁寧に炊いた稻と黍が調和する一品。

教えて! 観光ガイドさん!



大善院

MAP B-2
「野口のお不動様」と親しまれる寺。草花に囲まれ、心静まる祈りの場。



諏訪神社

MAP B-2
繁栄幸福をもたらすオガタマの木が立ち並び、今も地域の信仰を集める。



正福寺地蔵堂

MAP A-2
郡内唯一の木造国宝。年3回のみ公開される、禅宗特建築の名建築。



梅岩寺

MAP B-1
ケヤキカヤの巨木が佇む堂々とした古刹。石仏が並ぶ参道に、時の重なりを感じる。



白山神社

MAP B-2
牛頭天王を祀る社。疫病除けの祈りが今に伝わる静かな境内。



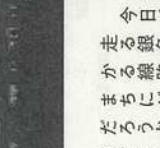
志村けんの像

MAP B-2
「アイアン」のポーズで笑顔を誇る、想いが集まった記念碑。



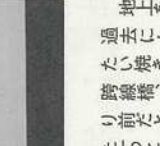
東村山
観光ボランティア
ガイドの会

MAP B-2
「アイアン」のポーズで笑顔を誇る、想いが集まった記念碑。



白山神社

MAP B-2
牛頭天王を祀る社。疫病除けの祈りが今に伝わる静かな境内。



「黄色い電車の、その先へ」

地上を走る黄色い電車の記憶が、過去になりかけている。改札横の待合室の匂い、乗り換えて渡った橋、西口のボウリング場。当たり前の風景が、いつの間にか遠くへ消えていく。見慣れた風景が塗り替わられていくのは、いつだって少しだけ寂しい。変わらないままだったまちが変わり、目の前の景色が東村山の新しい歴史へと刻まれていく。今日、見上げた空には、高架を走る黄色い電車が走る。空に架かる橋は、どこまでも続く。私たちのまちに、そんな明日を運んでくれるだろうか。変わり続けるこのまちの、その先にある終着駅を、これから見守っていききたい。



佐々木 葵

絶対! 辛党巡礼

辛い食べもの。それは赤く鮮やかな彩りと立ちのぼる香りそして口の中を駆け抜ける刺激で、身も心も熱くしてくれる存在。それは私の日常に欠かせないスパイスです。そんな辛党の仲間たちに贈る、東村山の辛活スポットをご紹介します。



Miyuki

麻婆焼
四川麻婆豆腐
MAP B-3
3種の豆板醤が香る名物料理。追い山椒で、痺れの流行きをマシマシにできます。

カレー
カリッジ、東京香辛店
MAP B-3
2~10辛まで選べる刺激。カリッと旨さと辛さが爆発する人気の唐揚げ。

ラーメン
ラーメン本舗 まるみ
MAP B-2
ハバネロパウダーが効く真っ赤な激辛ラーメン。辛さというより「滑らか」が魅力。

高菜と白身魚の四川風煮込み
MAP B-3
切り身の魚、高菜、唐辛子、山椒をスープで煮込んだ、四川料理の代表的な一品。

俺たちの偏愛麺紀行

麺が好きなんでもんじゃない。気づけば一週間の半分は麺をすすっている。武蔵野うどんのコシ、B級ご当地グルメ・黒焼そば、老舗そばの香り、昭和のラーメン、そして新顔の麺たち。東村山には、そんな"すらすら"にいられない理由"が詰まっています。"



しんいちろう



野口製麺所

MAP A-2
東村山産小麦の一杯、地元の恵みを味わう本格うどん。



武蔵野うどん 阿吽

MAP A-2
女将が打つ弾き系、伝統に新しさを重ねた一杯。



洋食レストラン
Kitchen KEIJI

MAP B-3
濃厚ナポリタンが人気。客席の味をシェフの一手へ。



手打ちうどん
きくや本店

MAP A-3
地粉の力強いコシ。武蔵野うどんの原風景がここに。



中華料理 ばん天

MAP C-2
黒焼そばが名物。もちもち麺に濃厚な旨み。



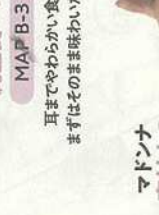
居酒屋 一休
久米川店

MAP B-3
そうめん研究家のソーマン二郎氏監修。だにも楽しめる新しい一面。



自家焙煎 燕コーヒー

MAP C-1
名店で修行した店主が創業。直火焙煎で甘みを引き出す一杯。



自家焙煎 燕コーヒー

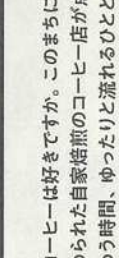
MAP C-1
名店で修行した店主が創業。直火焙煎で甘みを引き出す一杯。

珈琲物語

焙煎からはじまる一杯の時間



佐伯



cafe fuu
MAP B-2
農園指定の豆を自家焙煎。コーヒーとともに過ごす時間が心地よい。



自家焙煎 燕コーヒー

MAP C-1
名店で修行した店主が創業。直火焙煎で甘みを引き出す一杯。

コーヒーは好きですが、このまちには、店主の想いやこだわり込められた自家焙煎のコーヒー店が点在しています。豆選びから味、挽く時間、ゆったりと流れるひととき。その積み重ねが織り成すお店の物語をぜひ味わってみてください。



自家焙煎 燕コーヒー

MAP C-1
名店で修行した店主が創業。直火焙煎で甘みを引き出す一杯。



自家焙煎 燕コーヒー

MAP C-1
名店で修行した店主が創業。直火焙煎で甘みを引き出す一杯。



自家焙煎 燕コーヒー

MAP C-1
名店で修行した店主が創業。直火焙煎で甘みを引き出す一杯。



自家焙煎 燕コーヒー

MAP C-1
名店で修行した店主が創業。直火焙煎で甘みを引き出す一杯。



自家焙煎 燕コーヒー

MAP C-1
名店で修行した店主が創業。直火焙煎で甘みを引き出す一杯。



自家焙煎 燕コーヒー

MAP C-1
名店で修行した店主が創業。直火焙煎で甘みを引き出す一杯。



自家焙煎 燕コーヒー

MAP C-1
名店で修行した店主が創業。直火焙煎で甘みを引き出す一杯。



自家焙煎 燕コーヒー

MAP C-1
名店で修行した店主が創業。直火焙煎で甘みを引き出す一杯。



自家焙煎 燕コーヒー

MAP C-1
名店で修行した店主が創業。直火焙煎で甘みを引き出す一杯。



自家焙煎 燕コーヒー

MAP C-1
名店で修行した店主が創業。直火焙煎で甘みを引き出す一杯。



自家焙煎 燕コーヒー

MAP C-1
名店で修行した店主が創業。直火焙煎で甘みを引き出す一杯。

Have a good day!
パンで始まる、いい一日。

朝はコーヒードパン、という時間が好きです。店先に漂う焼きたての香りや、思わず見とれるパンの佇まい。元々はパン屋で、思わぬパンの付まいた。元々はパン屋で、思わぬパンの付まいた。元々はパン屋で、思わぬパンの付まいた。

メルポーチ
半熟たまごのカレーパン



MAP B-3
半熟たまごがふかごと。コクあるカレーと、もちやかな甘みが絶妙。

HARE/PAN 久米川店
刺身食パン

MAP B-3
耳までやわらかい食パン。まずはそのまま味わいたい一枚。

マドンナ
東村山の
殿様クリームパン

MAP B-1
ちよんまけ安の名物パン。遊び心あふれる老舗の味。

ペーカリーラザレ久米川店
明太フランス

MAP B-3
明太子クリームたっぷりで、1ヶ月で5,000個ほど売れる看板パン。

福ら
ちび丸チーズ

MAP A-3
白神こだま酵母のやさしい味。もちふや食感が心地よい。地味いふりなミニパン。

ボンジュール・東村山店
メープルメロンパン

MAP B-2
地卵を使ったやさしい味。メープル香る、ホットケーキのようなパン。

サントアン
トロパン

MAP C-1
トロパンなど遊び心あふれる一軒。見ても食べても楽しいパンがズラリ。

MAU PAN
まうパン

MAP B-3
多加水製法によるもちもち食感。毎日食べても飽きない食事パンです。

おやつな時間

おやつがあるだけで、時間は少し特別になりますよね。そこで、今気になる東村山のおやつを集めました。明日の午後3時、どれにする？

シャモア洋菓子店
久米川店

MAP B-3
ひがっしーをかたどったサブレが人気。安心素材でつくるやさしい甘さ。

欧風菓子アンジャンテ

MAP B-3
チーズケーキ専門店。ふわりとほっとける食感と香りが印象的。

ルフレザリア
パティスリー

MAP B-2
「甘く・強く・濃く」。濃厚な味わいで魅せる本格フランス菓子。

ロートヌ
秋津本店

MAP C-1
色鮮やかなケーキが並ぶ名店。五感で楽しむ洗練のパティスリー。

和菓子処 餅萬
総本店

MAP B-2
「だいいぶだうー種頭」で知られる、地域に根づく老舗和菓子店。

御菓子司
清水屋

MAP A-2
地産最中が名物。丁寧に炊いた稻と黍が調和する一品。

（教えて！）観光ガイドさん！



大覚院

MAP B-2
「野口のお不動様」と親しまれる寺。草花に囲まれ、心静まる祈りの場。



大覚院

MAP B-2
「野口のお不動様」と親しまれる寺。草花に囲まれ、心静まる祈りの場。



正福寺地蔵堂

MAP A-2
郡内唯一の木造国宝。年3回のみ公開される、禅宗特建築の名建築。



正福寺地蔵堂

MAP A-2
郡内唯一の木造国宝。年3回のみ公開される、禅宗特建築の名建築。



諏訪神社

MAP B-2
繁栄幸福をもたらすオガタマの木が立ち並び、今も地域の信仰を集める。



白山神社

MAP B-2
牛頭天王を祀る社。疫病除けの祈りが今に伝わる静かな境内。



志村けんの像

MAP B-2
「アイーヤ」のポーズで笑顔を誇る、想いが集まった記念碑。



梅岩寺

MAP B-1
ケヤキカヤの巨木が佇む堂町創建の古刹。石仏が並ぶ参道に、時の重なりを感じる。



東村山
観光ボランティア
ガイドの会

MAP B-2
「アイーヤ」のポーズで笑顔を誇る、想いが集まった記念碑。



東村山
観光ボランティア
ガイドの会

MAP B-2
「アイーヤ」のポーズで笑顔を誇る、想いが集まった記念碑。



東村山
観光ボランティア
ガイドの会

MAP B-2
「アイーヤ」のポーズで笑顔を誇る、想いが集まった記念碑。



東村山
観光ボランティア
ガイドの会

MAP B-2
「アイーヤ」のポーズで笑顔を誇る、想いが集まった記念碑。



東村山
観光ボランティア
ガイドの会

MAP B-2
「アイーヤ」のポーズで笑顔を誇る、想いが集まった記念碑。



東村山
観光ボランティア
ガイドの会

MAP B-2
「アイーヤ」のポーズで笑顔を誇る、想いが集まった記念碑。



東村山
観光ボランティア
ガイドの会

MAP B-2
「アイーヤ」のポーズで笑顔を誇る、想いが集まった記念碑。



東村山
観光ボランティア
ガイドの会

MAP B-2
「アイーヤ」のポーズで笑顔を誇る、想いが集まった記念碑。

俺たちの偏愛麺紀行

麺が好きなんでもんじゃない。気づけば一週間の半分は麺をすすっている。武蔵野うどんのコシ、B級ご当地グルメ・黒焼そば、老舗そばの香り、昭和のラーメン、そして新顔の麺たち。東村山には、そんな“すらすら”にいられない理由“が詰まっています。



しんいちろう

武蔵野うどん 阿吽

MAP A-2
女将が打つ連気系。伝統に新しさを重ねた一杯。



野口製麺所

MAP A-2
東村山産小麦の一杯、地元の恵みを味わう本格うどん。



野口製麺所

MAP A-2
東村山産小麦の一杯、地元の恵みを味わう本格うどん。



野口製麺所

MAP A-2
東村山産小麦の一杯、地元の恵みを味わう本格うどん。



野口製麺所

MAP A-2
東村山産小麦の一杯、地元の恵みを味わう本格うどん。

手打ちうどん
きくや本店

MAP A-3
地粉の力強いコシ。武蔵野うどんの原風景がここに。



MAP A-3
地粉の力強いコシ。武蔵野うどんの原風景がここに。



MAP A-3
地粉の力強いコシ。武蔵野うどんの原風景がここに。



MAP A-3
地粉の力強いコシ。武蔵野うどんの原風景がここに。

すばいす

MAP B-3
先代から受け継がれるちゃんぽん。地域に愛される一杯。



MAP B-3
先代から受け継がれるちゃんぽん。地域に愛される一杯。



MAP B-3
先代から受け継がれるちゃんぽん。地域に愛される一杯。



MAP B-3
先代から受け継がれるちゃんぽん。地域に愛される一杯。



MAP B-3
先代から受け継がれるちゃんぽん。地域に愛される一杯。

中華料理 ばん天

MAP C-2
黒豚そばが名物。もちもち麺に濃厚な旨み。



MAP C-2
黒豚そばが名物。もちもち麺に濃厚な旨み。



MAP C-2
黒豚そばが名物。もちもち麺に濃厚な旨み。



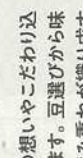
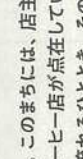
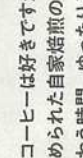
MAP C-2
黒豚そばが名物。もちもち麺に濃厚な旨み。



MAP C-2
黒豚そばが名物。もちもち麺に濃厚な旨み。

珈琲物語

焙煎からはじまる一杯の時間



MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。



MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

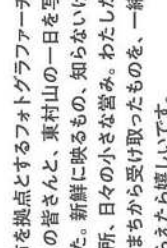
MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

MAP B-2
重り磨りで楽しむ日常の一杯。人と豆をつなぐ、やさしいお店です。

日常寫真館



MAP C-2
かつて水なし川と呼ばれた一級河川。今は季節の風景が流れます。



MAP C-2
かつて水なし川と呼ばれた一級河川。今は季節の風景が流れます。



MAP C-2
かつて水なし川と呼ばれた一級河川。今は季節の風景が流れます。



MAP C-2
かつて水なし川と呼ばれた一級河川。今は季節の風景が流れます。



MAP C-2
かつて水なし川と呼ばれた一級河川。今は季節の風景が流れます。



MAP C-2
かつて水なし川と呼ばれた一級河川。今は季節の風景が流れます。



MAP C-2
かつて水なし川と呼ばれた一級河川。今は季節の風景が流れます。



MAP C-2
かつて水なし川と呼ばれた一級河川。今は季節の風景が流れます。



MAP C-2
かつて水なし川と呼ばれた一級河川。今は季節の風景が流れます。



MAP C-2
かつて水なし川と呼ばれた一級河川。今は季節の風景が流れます。



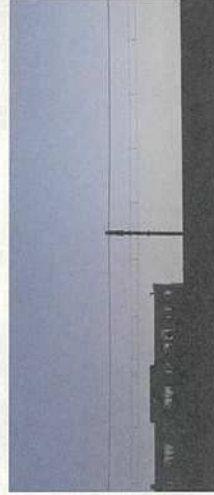
MAP C-2
かつて水なし川と呼ばれた一級河川。今は季節の風景が流れます。



MAP C-2
かつて水なし川と呼ばれた一級河川。今は季節の風景が流れます。

スマホの画面を閉じて、歩いてみては？ 観光ボランティアガイドさんとまちをめぐると、国宝や歴史ある風景、そして教科書には載っていない“わくわく”に出会えます。足もとを履き慣れたスニーカーでね。

「黄色い電車の、その先へ」

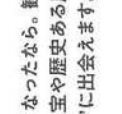


エッセイ「西武線のある風景」

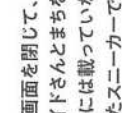
地上を走る黄色い電車の記憶。過去になりかけている。改札横のたれ巻きの匂い、乗り換えて渡った橋、西口のボウリング場。当たり前の風景が、一瞬、まじり込んで思い出に変わっている。見慣れた風景が塗り替わられていくのは、いつだって少しだけ寂しい。変わらないままだったまちが変わり、目の前の変化が東村山の新しい歴史へと刻まれていく。今日、見上げた空には、高架を走る銀色の電車が見える。空に架かる鉄橋はとくへ、私たちがまちにこんな明日を運んでくるだろうが、変わり続けるこのまちの、その先にある終着駅を、これから見守っていききたい。



みづき



みづき



みづき



みづき



みづき



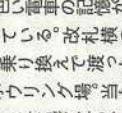
みづき



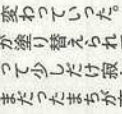
みづき



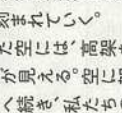
みづき



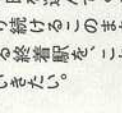
みづき



みづき



みづき



みづき



みづき



みづき



みづき



みづき



みづき



みづき



みづき



みづき



みづき



みづき



みづき